



紹介者
製造第二課 **高橋 満** さん

▼**どんな会社ですか**
医薬品の原料となる製品を製造しています。安全を第一に考えた会社で、ゼロ災害1000日達成を目指しています。また、従業員一人一人が

まちの企業探検隊⑫ 積水メディカル株 岩手工場

企業人による会社紹介

所在地 松尾4-115
資本金 12億7,500万円
代表者 岩手工場長・根釜 務
設立 昭和54年3月
従業員数 119人
電話番号 74-3161
事業内容 国内外向けアミノ酸、医薬中間体の製造
主な取引先 国内外製薬メーカー

環境に配慮した取り組みを行っている会社です。

▼**どんな仕事をしていますか**
医薬品の中間体や医薬用のアミノ酸の製造をしています。

▼**仕事で心掛けていることは**
製品の製造管理・品質管理基準(GMP)やマニユアル(SOP)に基づき、事故なく安全で品質の高い製品を提供するように心掛けています。

▼**やりがいを感じることは**
製造したものが検査で合格し、お客様へ出荷されたときはうれいですね。

▼**今後目指していくことは**
知名度の高い工場を目指すため、さらなる品質向上と生産性のスピードアップに努めるほか、お客さまのニーズに応えた新しい製品の製造にチャレンジしていきたいです。



ドリブルなどの練習でボールに親しみます

No.7 八幡平フット ボールクラブ スポーツ少年団

八幡平フットボールクラブスポーツ少年団は、4月に設立されたばかりのスポーツ少年団です。今シーズンは、県北地区代表として全日本少年サッカー大会若手県大会に出場を果たしています。

団員は、地区の隔たりなく市内全域から33人が集まっています。練習に対する姿勢や努力を重んじたチーム編成を目指しているほか、サッカーを楽しくすることを目的とした小学校1年生からのスクール制



地区にとらわれず33人の団員が練習に集まっています

を導入しています。

活動を通して、ルールを守る態度と体力の向上はもちろん、礼儀正しく協調性に優れた社会人に育ってくれるよう指導しています。

新団員は随時募集しています(1ヵ月無料体験入団あり)。

■練習日時・場所
毎週水・金曜日、午後7時から9時まで、西根地区体育館ほか

詳しくは、同スポーツ少年団父母会・遠藤(☎75-12448)まで。

No.63 広報クイズ 12月2日号の問題

アンソメット岩手
八幡平全国大会4
試合の総得点数は

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りします。
◎応募方法 はがき、FAX、メールに「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。答えのほかに、広報の感想や意見などを必ず書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」 ☆はがき〒028-7192(住所不要)
☆FAX75-0469 ☆メールsomuka@city.hachimantai.lg.jp(タイトルに「広報クイズ」と入力、携帯電話は右の二次元コードから送信できます)
◎応募期限 12月20日(日) 消印有効
◎第62回の正解 「167人」 ◎応募者数 11人 ◎正解者数 11人
◎当選者 高橋桂子さん(大更)、長南絵夢さん(平舘)、久世教枝さん(柏台)



保健のひろば

☎・内線1151 市市民部保健課

介護のココロ

☎・内線1185 市福祉部長寿社会課

◆認知症セミナーを開催します

「認知症」をテーマにしたセミナーを次のとおり開催します。入場は無料、事前申込は不要です。皆さんで認知症のことについて考えてみませんか。

■日時 23年1月14日(金) 午後1時半から3時まで

■場所 ふれあいセンター安代

■内容

▶講演会「学ぼう、考えよう、認知症のこと」

■講師 千葉喜久也氏(東京有明医療大学准教授)

▶交流会「千葉先生に聞いてみよう～ 認知症あれこれ～」

【例えばこんなことを聞いてみませんか】

●ご飯を食べたのに食べてないと言いつ張る。どうすればいいんだろう…?

●ここは自分の家ではないと話し、外に出たがる。どうすればいいんだろう…?

詳しくは、市福祉部長寿社会課まで問い合わせください。

風邪・インフルエンザの流行シーズンです
これからの寒い季節は、風邪やインフルエンザにかかりやすくなります。きちんと体調管理をし、元気に過ごしましょう。

◆**風邪とインフルエンザの違いは感染力と症状**
【風邪】

原因は、200種類以上もあるウイルスと細菌で、空气中を飛んでいます。感染力は強くなく、症状はくしゃみや鼻汁、せき、のどの痛みが中心。発熱や頭痛があってもそれほどひどくありません。

【インフルエンザ】

原因は、インフルエンザウイルスで感染力が強いのが特徴。かぜと同じような症状とともに38度以上の高熱、頭痛、関節痛などの全身症状が急激に強く出ます。

◆**毎日の体調管理が予防の鍵**
①せきやくしゃみによって飛び散るウイルス対策として、手洗いやうがい習慣づけましょう。

②寒さと乾燥はウイルスを活性化させ、のどや鼻の粘膜の抵抗力を弱めます。部屋

を暖かくして湿度を60%以上に保つことが大切。また、マスクを着用することは、のどや鼻の粘膜を守るためにも役立ちます。
③免疫力を高めるために規則正しい生活を心掛けましょう。休養や睡眠を十分取ることやバランスの良い食事、適度な運動などが大切です。体を冷やさないように衣類を調節したり、簡単なストレッチなどで筋肉をほぐし、代謝を上げたりすることは、免疫力を高めるのにつながります。
④感染力の強いインフルエンザには予防接種が効果的です。ワクチンが効き始めるまでに2〜3週間ほどかかります。早めに予防接種を受けましょう。



福社 NETWORK 環境のみらい

☎・内線1137 市市民部市民課

除雪機械の衝突防止に目印を設けましょう

介護のココロ

☎・内線1185 市福祉部長寿社会課

◆認知症セミナーを開催します

「認知症」をテーマにしたセミナーを次のとおり開催します。入場は無料、事前申込は不要です。皆さんで認知症のことについて考えてみませんか。

■日時 23年1月14日(金) 午後1時半から3時まで

■場所 ふれあいセンター安代

■内容

▶講演会「学ぼう、考えよう、認知症のこと」

■講師 千葉喜久也氏(東京有明医療大学准教授)

▶交流会「千葉先生に聞いてみよう～ 認知症あれこれ～」

【例えばこんなことを聞いてみませんか】

●ご飯を食べたのに食べてないと言いつ張る。どうすればいいんだろう…?

●ここは自分の家ではないと話し、外に出たがる。どうすればいいんだろう…?

詳しくは、市福祉部長寿社会課まで問い合わせください。

◆油漏れを防ぐために

寒くなり、暖房を使う機会が増える季節になります。この時期は、油漏れが多数発生しています。その原因の多くが操作ミスによるものです。次のことに注意しましょう。

①ホームタンクの設置場所は必ず固定する。万一の場合に備えて防油堤を設置する(200%以上のホームタンクは設置が義務付けられています)。落雪のおそれがある場所や水路付近には置かない。

②給油時は絶対にその場から離れない。給油後は、バルブ栓をしっかり閉める。

③除雪するときには、タンクや配管を破損しないようにする。また、定期的に点検を行う。

④不要なタンクはそのままにせず速やかに処分する。不要になった灯油は捨てない。油漏れを発見したり、油漏れを起こしたりした場合は、市市民部市民課や八幡平消防署にすぐご連絡してください。